

# コーディネーター通信



令和3年10月21日(木)発行

校長 中山 啓

担当：コーディネーター

松山 かをり 臼田 まゆみ

## 学校間交流「中学部2年生連合スポーツ大会」

9月10日(金)、本校と品川区立中学校・義務教育学校後期課程の特別支援学級の8校合同による「連合スポーツ大会」が行われました。この連合スポーツ大会は、毎年本校の中学部2年生が参加しており、日ごろの教育活動において、学んだ成果を発揮するとともに、各学校の生徒がスポーツを通して友好を深めることを目的としています。今年度はzoomを使ったオンラインで行われました。初めての試みでしたが、テレビ画面に他の学校が映ると、本校の生徒たちもとてもよく注目していました。開閉会式、準備体操、競技種目、個人種目に参加したり、応援を行いました。



また、「筋トレNO.1」という個人種目では、他の学校に負けない記録を出す人もいて、応援も盛り上がりました。



競技種目「スポーツリバーシ」は何回か練習してタイムを縮めてきました。本番では、今までの練習を上回った記録を出すことができました。ルールが、分かりやすく、楽しく、どの人もみな参加することができ、白熱した闘いとなりました。



画面を通して「あっ〇〇さんだ」と他の学校のお友達を見つけた人もいました。制限がある中でしたが、本校の生徒たちも楽しい活動と交流をもつことができました。

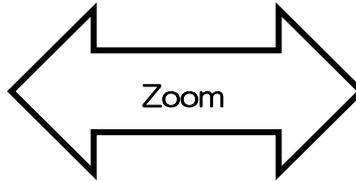
生徒たちがわかりやすく充実した活動になるように企画してくださった特別支援学級の先生方ありがとうございました。

今度は実際にお会いできる日を楽しみにしています。



品川特別支援学校

# オンライン副籍交流



品川区立伊藤学園 7年4組

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスにより、直接的な交流が行えない状況でした。今年度は、「Zoom」を使用して、オンラインでの副籍交流を試行しています。本校では、第1号（1人目）のモデルケースとして実施され、品川区立伊藤学園7年4組と「自己紹介」の交流をおこないました。

## おうちの方からの感想

実際に副籍校に出向いての交流は、アウェイ感否めず緊張もしますが、「Zoom」だと、画面越しで程よい距離感を感じ、楽しく自己紹介できました。その分、我が子とのかつことをたくさん紹介したくなり、発表内容が盛りだくさんになって、交流時間を超過してしまったことが反省点です。前もって自己紹介用の資料を副籍校にお渡ししておいて、「Zoom」交流会当日は、質疑応答としても良いかもしれません。

（品川特別支援学校 中学部1年E組 お母さまより）

## 品川特別支援学校担任のからの感想

お母さま自作の自己紹介パワーポイント資料を伊藤学園の7年生のみなさんと一緒に見たり、手を振ったりしてよい交流を行うことができました。また、お母さまは事前に通信状況やパワーポイントの動きの確認がしたいなどと、とても熱心に取り組んでいただきました。初めてのZoomでの交流でしたが今後につながる充実した良い交流でした。

## 品川区 伊藤学園7-4学級委員

僕は、お母さんの話を聴いて、障がいがある方々について深く考えさせられました。大変なことが僕たちより多い反面、僕たちと同じように、または僕たちよりも多く幸せを感じることができるのだと知りました。今まで僕はみなさんの存在について深く考える機会がありませんでした。ですが、今回の交流で前よりもずっとみなさんの存在を身近に感じるようになりました。先日はとても有意義な話をありがとうございました。

## 品川区 伊藤学園7-4担任の先生

4組は海外にルーツがある生徒も在籍しており、多様性を受け入れ認め合えるクラスを目指して、日々学級経営を行っています。今回、副籍交流のお話をいただいた際、4組の子どもたちにとって貴重な機会になるのではと思い、交流の日が来るのを楽しみにしてきました。オンラインでの交流ではありましたが、画面を通して御本人の人柄が伝わってきましたし、お母様のとてもわかりやすいスライドで普段の様子を知ることができました。同じ地域に住む子どもたちの交流はとても大切で、4組の子どもたちが地域でも仲良く、お互いに強い関心を持って生活して欲しいと願っています。そのために、これからも積極的に交流を行い、相互理解を進めたいと思います。

このたびは、お母様を始め、交流活動に向けて準備をしてくださった品川特別支援学校の先生に厚く御礼を申し上げます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。